

# AutoCADで3種類の回転方法をマスターしよう

AutoCADの回転コマンド「ROTATE」について解説します。

建築図面の作図においては、敷地境界線や壁が、傾斜しており、建具を壁の角度に合わせたり、家具を壁に沿って配置するなど、回転が必要な場面があります。

本記事では、3種類の回転方法について、「AutoCAD 2025」の操作画面を引用して分かりやすく解説します。ぜひ参考にしてください。

この記事を読むと、以下のことが分かります。

- 1.AutoCADにおける現在の角度を基準に回転する方法
- 2.AutoCADにおける0°を基準に回転する方法
- 3.AutoCADにおける他のオブジェクトに合わせて回転する方法

|                                 |          |
|---------------------------------|----------|
| <b>AutoCADで3種類の回転方法をマスターしよう</b> | <b>1</b> |
| 回転コマンドの起動方法                     | 1        |
| 【前提】角度の基準について                   | 2        |
| (1)現在の角度を基準に回転                  | 3        |
| (2)0°を基準に回転                     | 8        |
| (2-1)現在の角度が分かる場合                | 8        |
| (2-2)現在の角度が分からない場合              | 12       |
| (3)他のオブジェクトに合わせて回転              | 14       |
| まとめ                             | 20       |

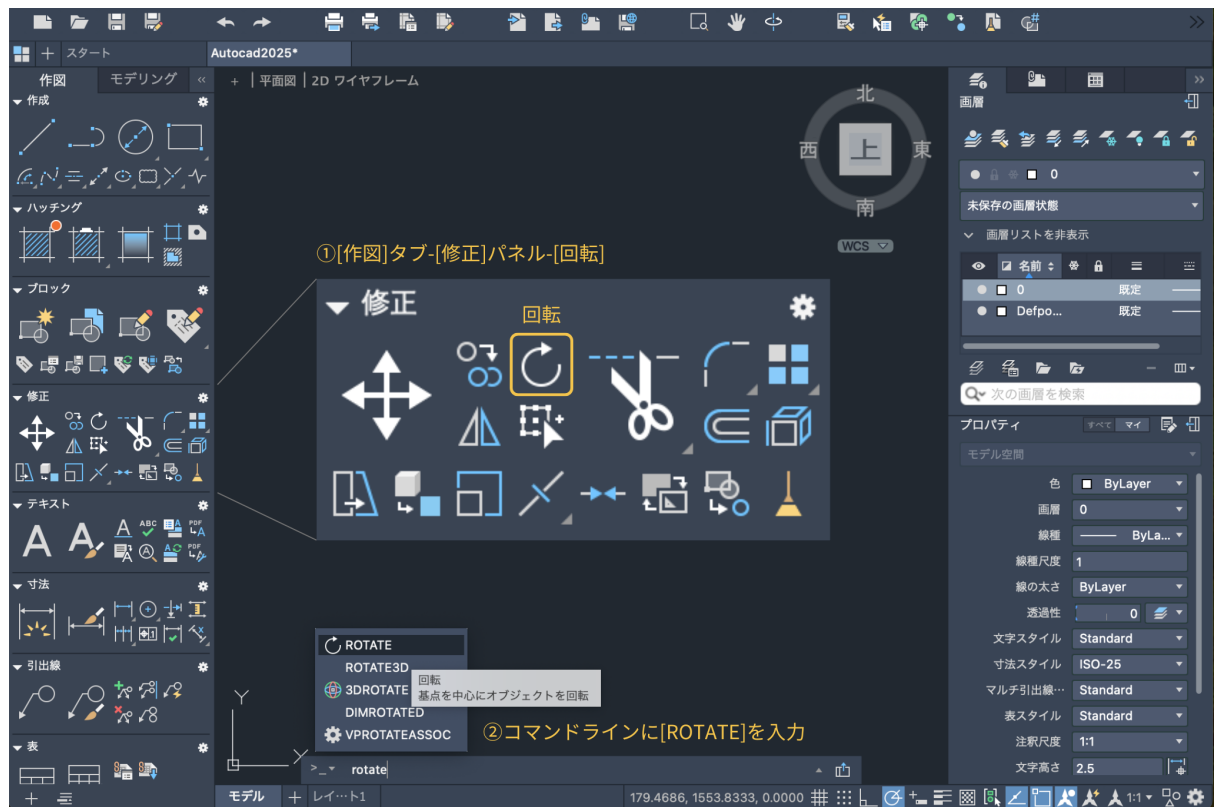
## 回転コマンドの起動方法

まずは、回転コマンドの起動方法を解説します。

次の2つの方法があります。

<1>[作図]タブ-[修正]パネル-[回転]コマンドを選択します。

<2>コマンドラインに[ROTATE]と入力し、[Enter]キーを押します。[ro]と入力すれば一番上に表示されます。



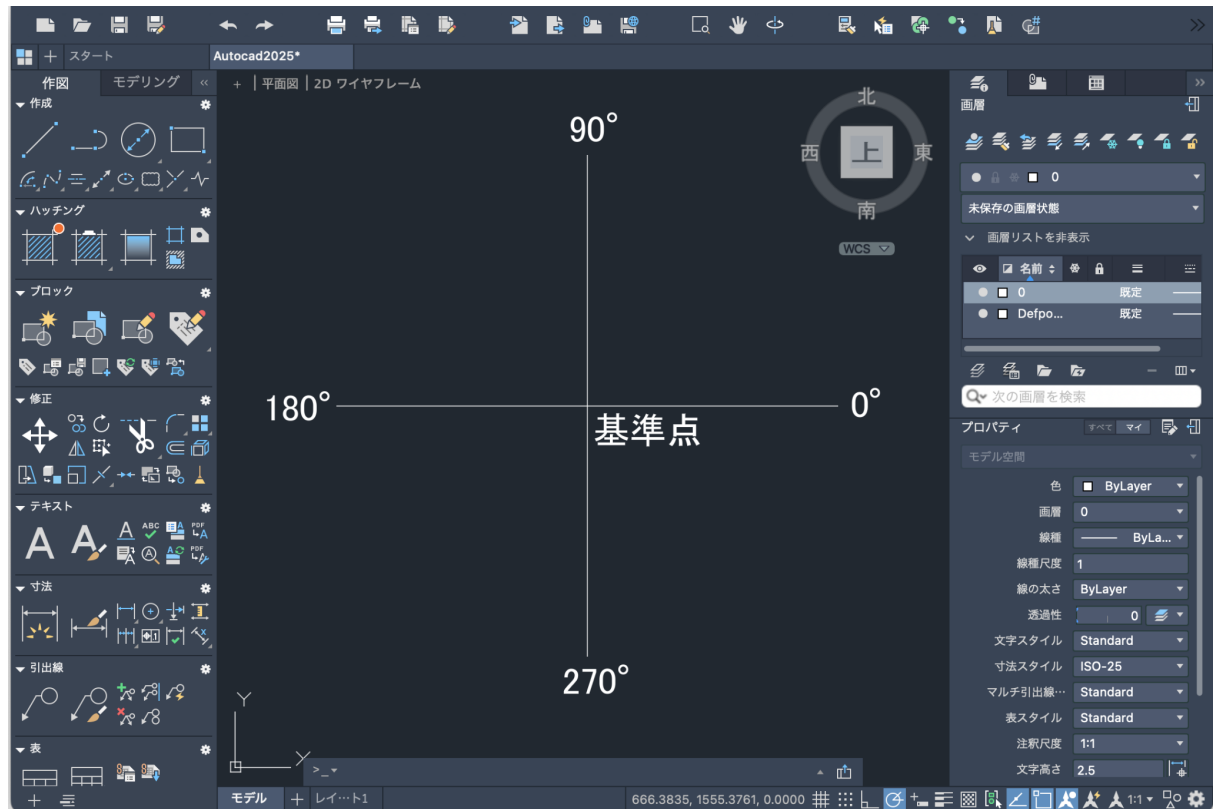
引用)AutoCAD 2025 V.58.M.214

## 【前提】角度の基準について

3種類の回転方法を解説する前に、AutoCADの角度の基準について解説します。

初期設定で角度の基準となる0°は、基準点から東方向の水平となります。

反時計回りに回転するため、基準点から北方向は90°、西方向は180°、南方向は270°です。



引用)AutoCAD 2025 V.58.M.214

## (1)現在の角度を基準に回転

ここからは、3種類の回転方法について解説します。

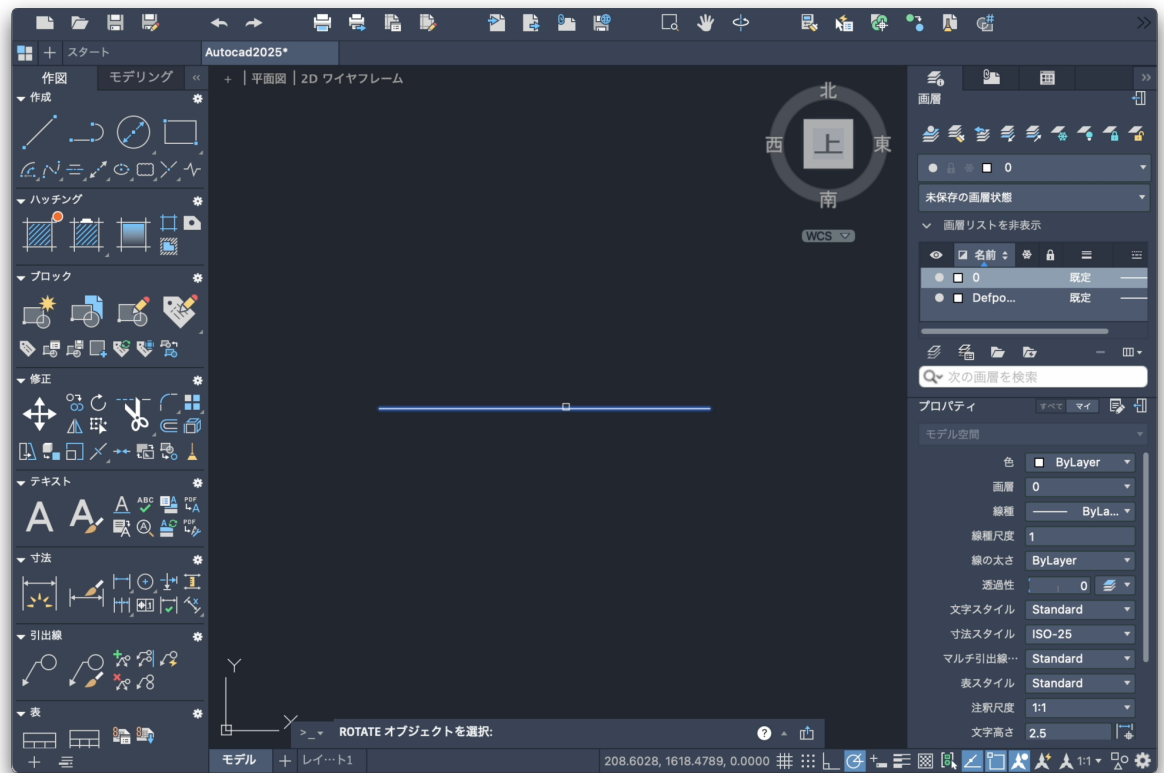
1つ目は、現在の角度を基準に、回転する数値を指定して回転させる方法です。

たとえば、現在の角度が0°の場合、30°を指定すれば、 $0^{\circ}+30^{\circ}=30^{\circ}$ の角度になります。  
また、現在の角度が15°の場合、30°を指定すれば、 $15^{\circ}+30^{\circ}=45^{\circ}$ の角度になります。

操作は下記の手順で行います。例として、現在の角度が0°の線を30°にします。

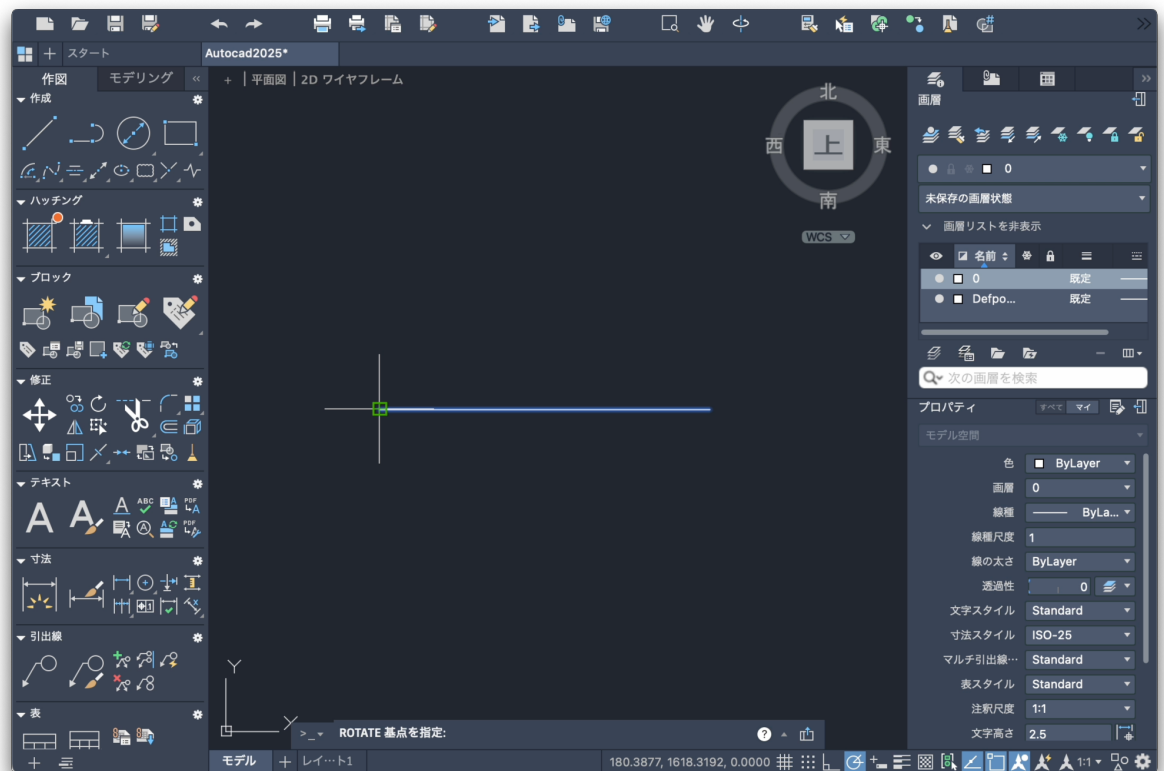
1. 回転コマンドを起動します。

2. 回転したいオブジェクトを選択後、[Enter]キーを押します。



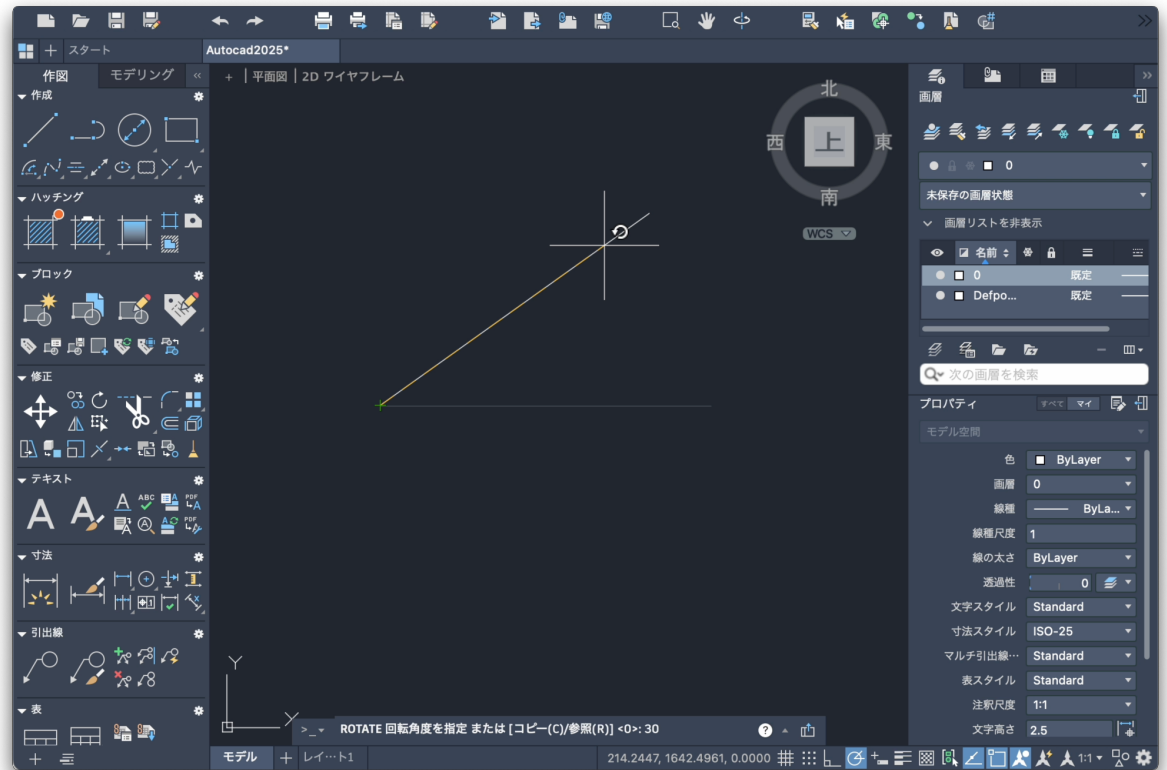
引用)AutoCAD 2025 V.58.M.214

3. 基点を選択します。基点とは、回転の中心となる点です。



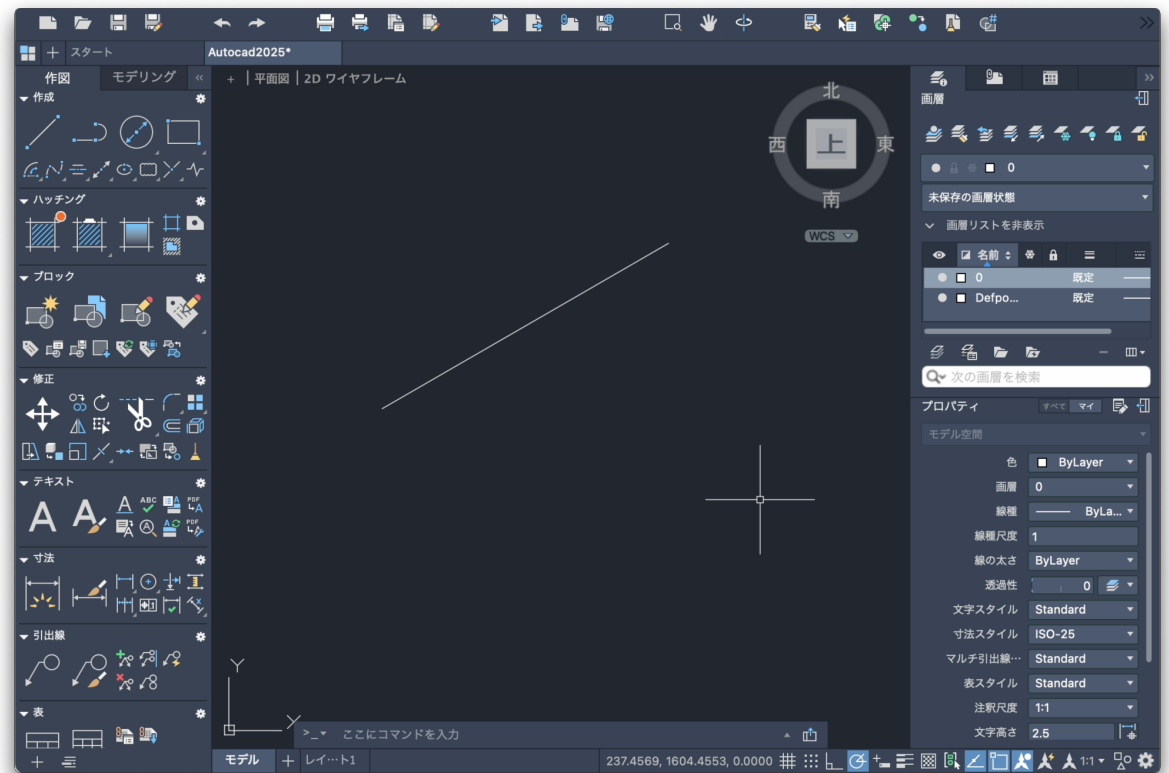
引用)AutoCAD 2025 V.58.M.214

4. 回転したい角度をコマンドラインに入力し、[Enter]キーを押します。ここでは、30°回転させるために[30]と入力しました。これで操作が完了しました。



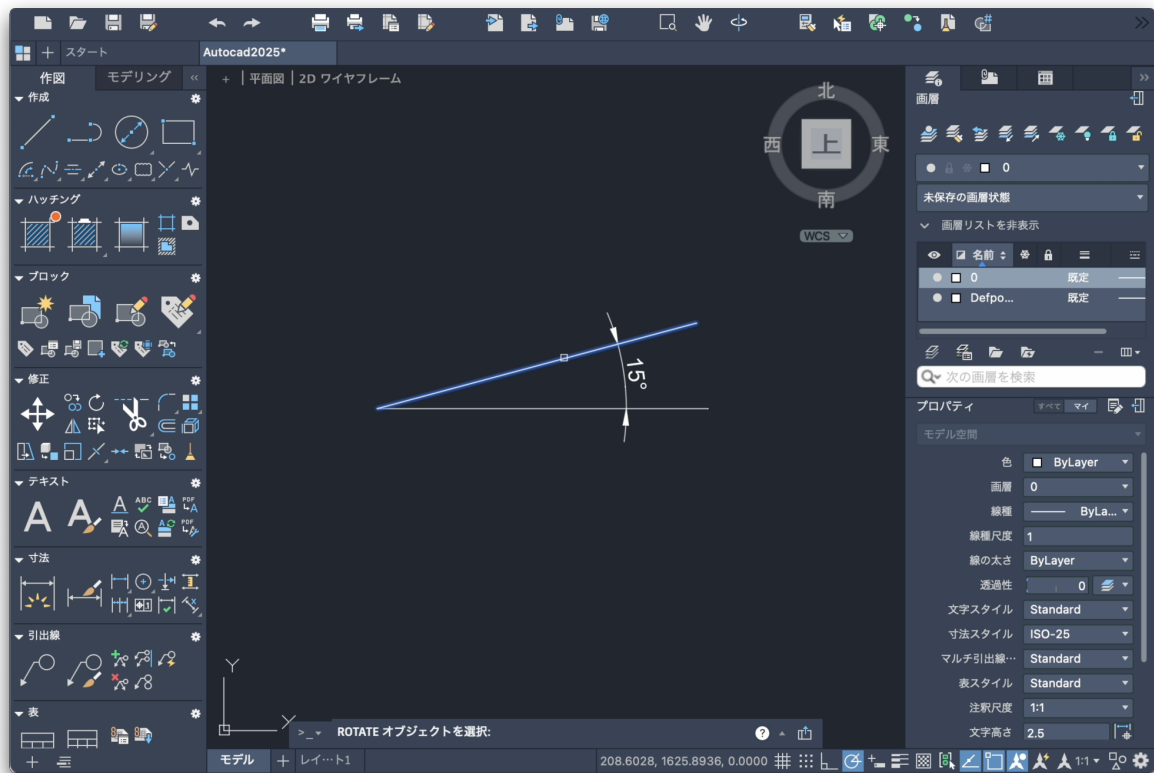
引用)AutoCAD 2025 V.58.M.214

5. 元の0°から30°回転して、30°の線になりました。



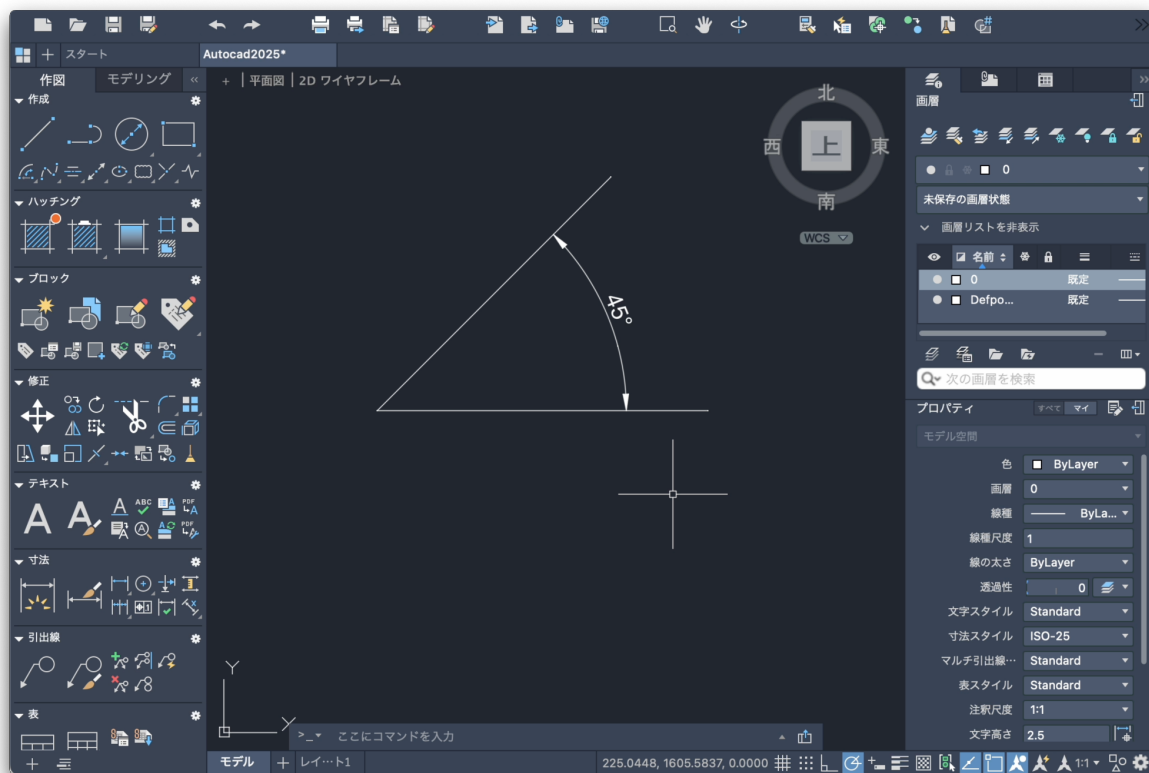
引用)AutoCAD 2025 V.58.M.214

では、同じ手順で現在の角度が15°の線を、30°回転させてみましょう。



引用)AutoCAD 2025 V.58.M.214

15°を基準として30°回転させたため、 $15^{\circ}+30^{\circ}=45^{\circ}$ の線になりました。



引用)AutoCAD 2025 V.58.M.214

## (2)0°を基準に回転

2つ目は、0°を基準に回転させる方法です。

既に角度がついている場合でも、0°を基準とするために、現在の角度の情報がが必要です。現在の角度が分かる場合と分からない場合で、2つの方法があります。

また、AutoCADでは、現在の角度を「参照する角度」と表現しています。

### (2-1)現在の角度が分かる場合

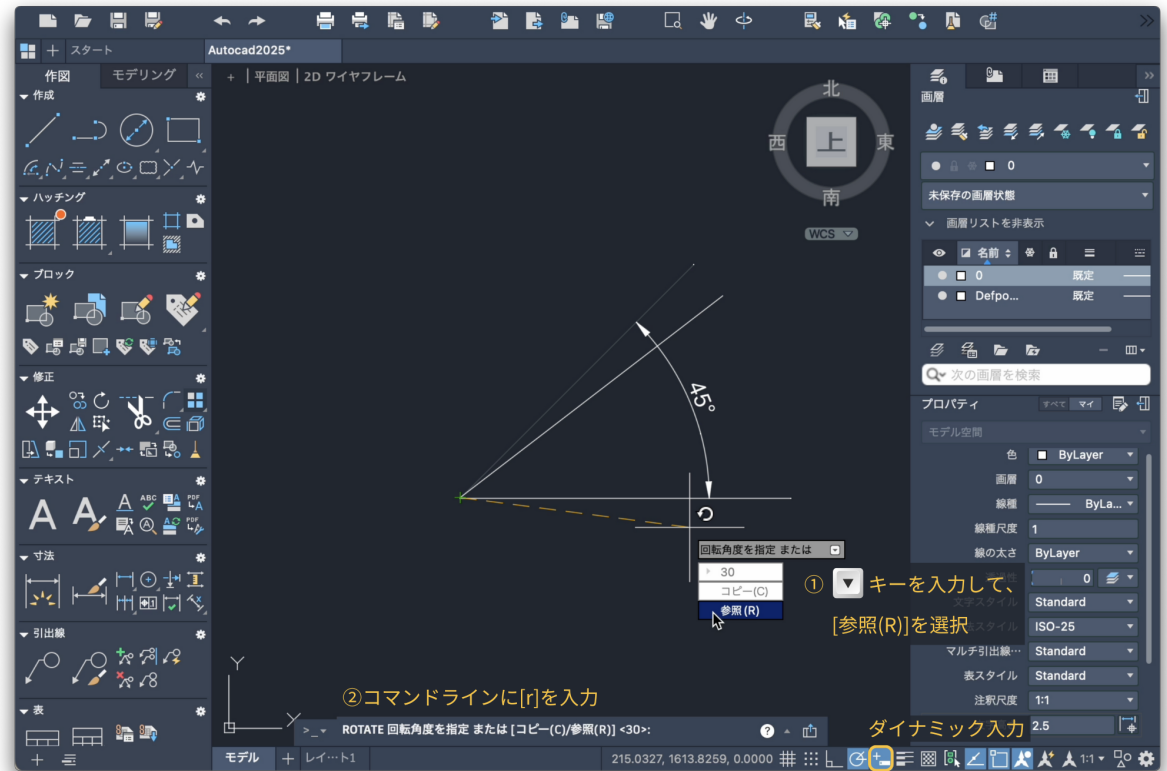
現在の角度が分かる場合は、「参照する角度」として、現在の角度を入力します。

例として、現在の角度が45°と分かっている線を、60°の角度にしてみましょう。

手順3までは、(1)と同じです。

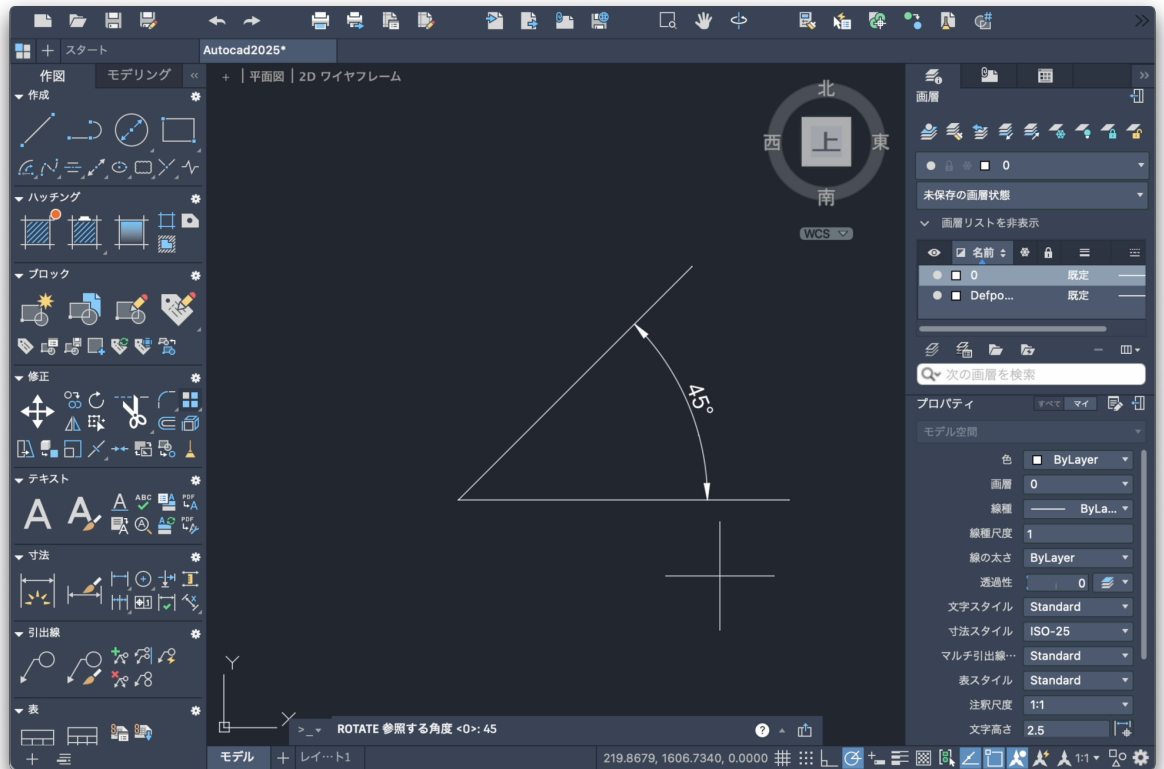
1. 回転コマンドを起動します。

2. 回転したいオブジェクトを選択後、[Enter]キーを押します。
3. 基点を選択します。
4. [参照(R)]オプションを選択します。選択方法は次の2つです。
  - <1>コマンドラインに[r]と入力し、[Enter]キーを押します。
  - <2>[ダイナミック入力]が有効になっている場合、キーボードで[▼]キーを押すとメニューが表示されるため、[参照(R)]オプションを選択します。



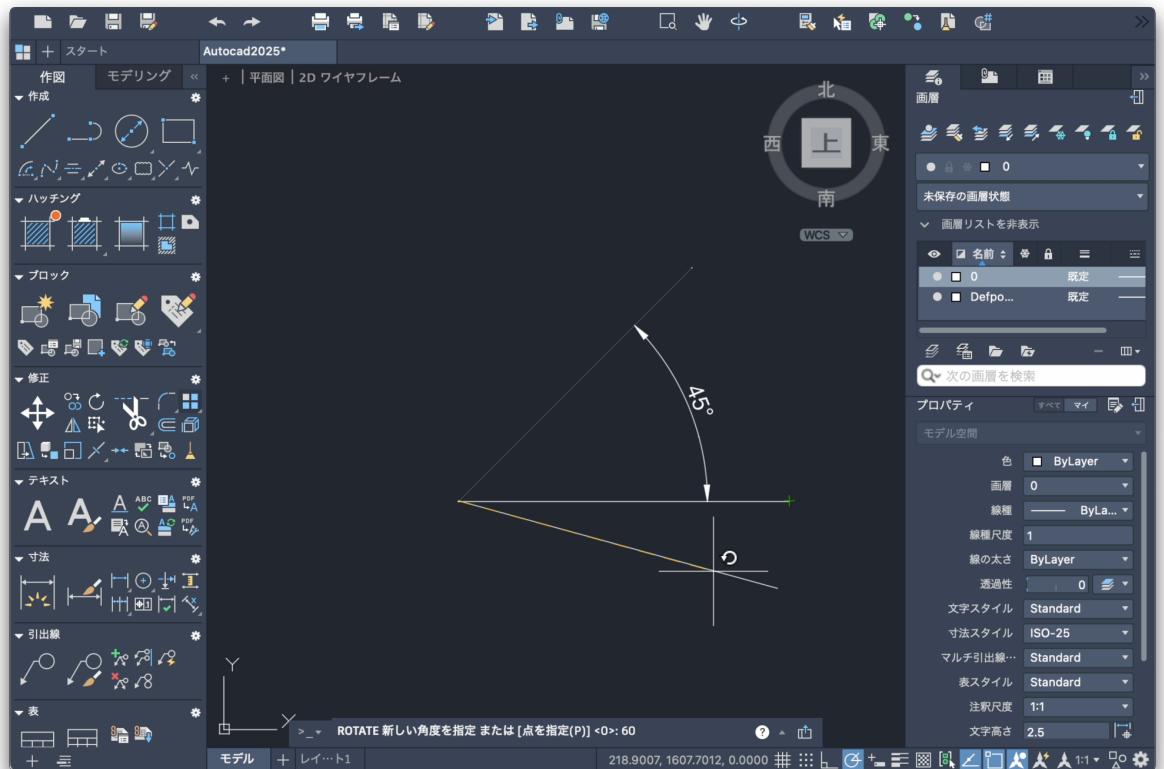
引用) AutoCAD 2025 V.58.M.214

5. コマンドラインに、「参照する角度」と表示されました。現在の角度を入力し、[Enter]キーを押します。ここでは、現在の角度が45°のため、[45]と入力しました。



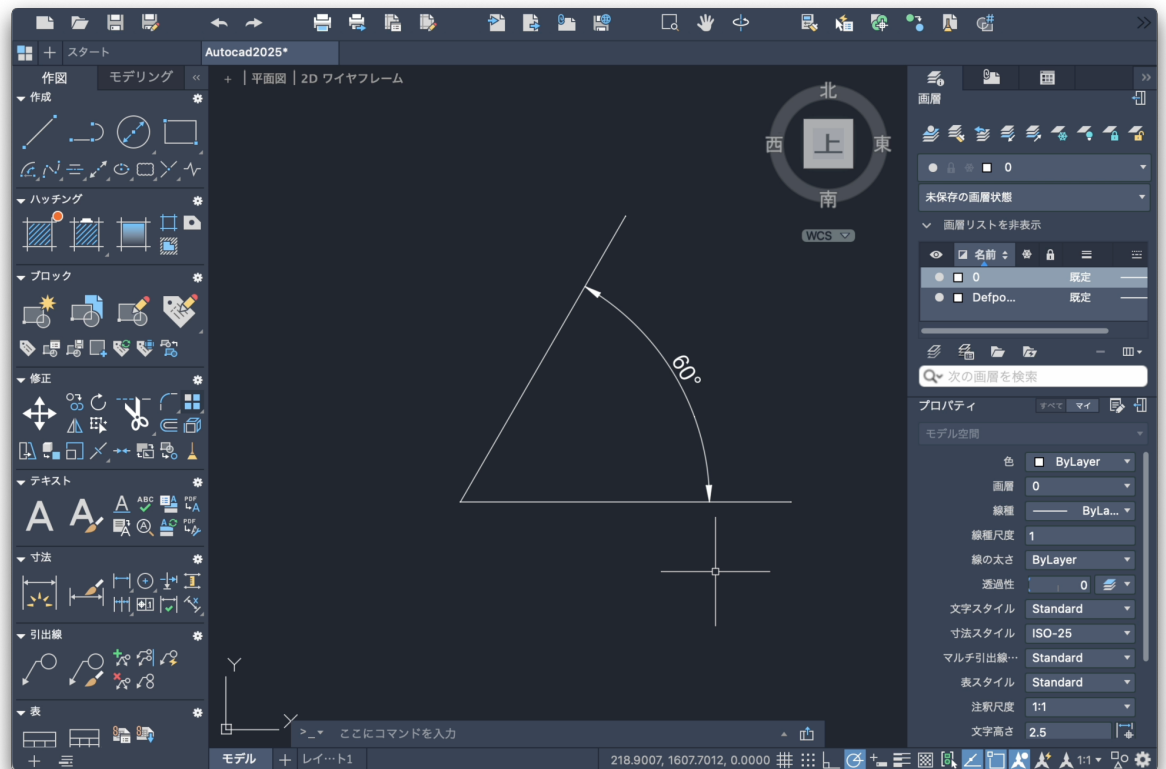
引用)AutoCAD 2025 V.58.M.214

6. 0°を基準とした状態になっているため、コマンドラインに最終的な角度を入力し、[Enter]キーを押すと、操作完了です。ここでは、60°の角度にするため、[60]と入力しました。



引用)AutoCAD 2025 V.58.M.214

7. 0°を基準に60°回転させたため、0°+60°=60°の角度の線になりました。



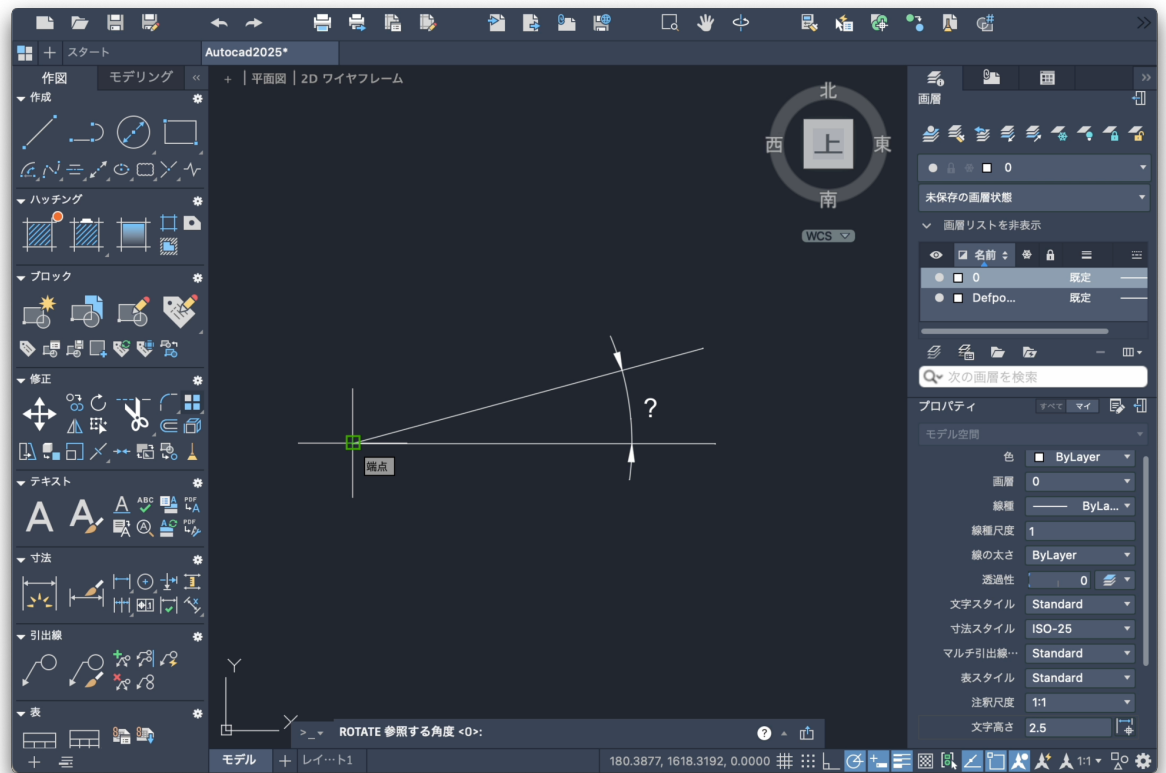
## (2-2) 現在の角度が分からない場合

現在の角度の数値が分からない場合は、回転させたいオブジェクトの2点を選択することで、角度を測定し、「参照する角度」として使用します。

例として、現在の角度が分からない線を、60°の角度にしてみましょう。手順4までは、(2-1)と同じです。

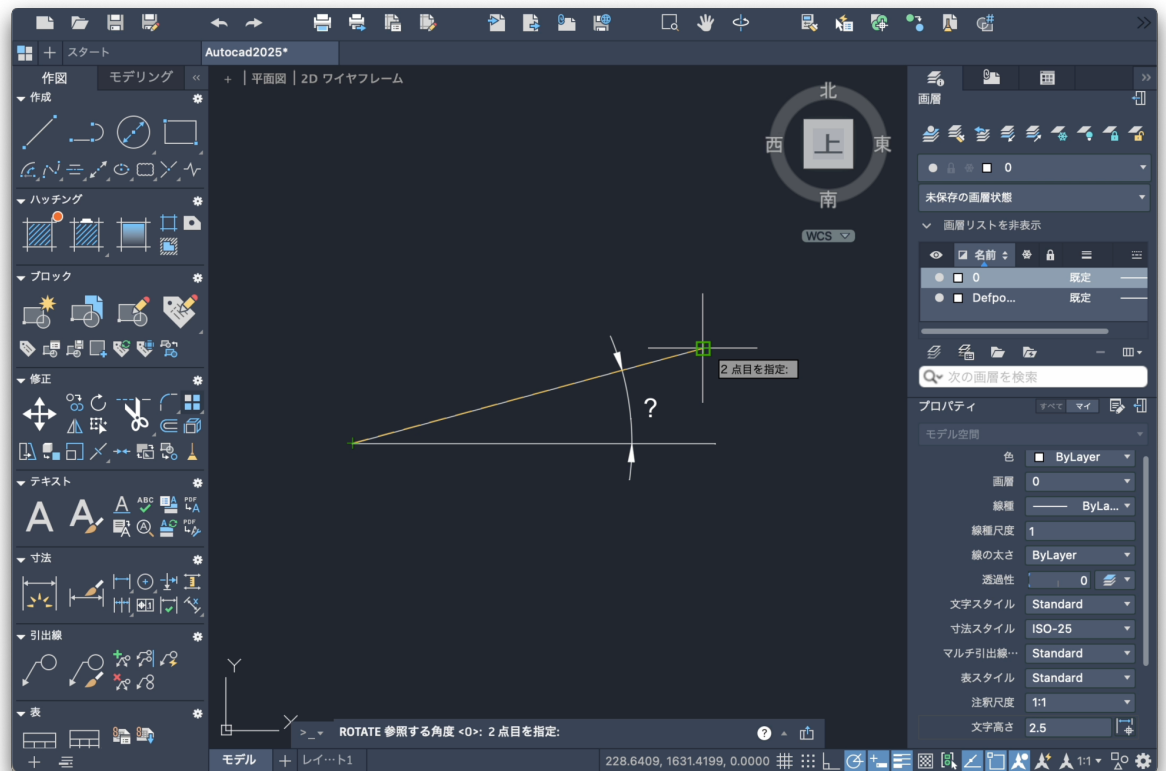
1. 回転コマンドを起動します。
2. 回転したいオブジェクトを選択後、[Enter]キーを押します。
3. 基点を選択します。
4. [参照(R)]オプションを選択します。選択方法は次の2つです。
  - <1>コマンドラインに[r]と入力し、[Enter]キーを押します。
  - <2>[ダイナミック入力]が有効になっている場合、キーボードで[▼]キーを押すとメニューが表示されるため、[参照(R)]オプションを選択します。

5. 現在の角度の線の1点目を選択します。



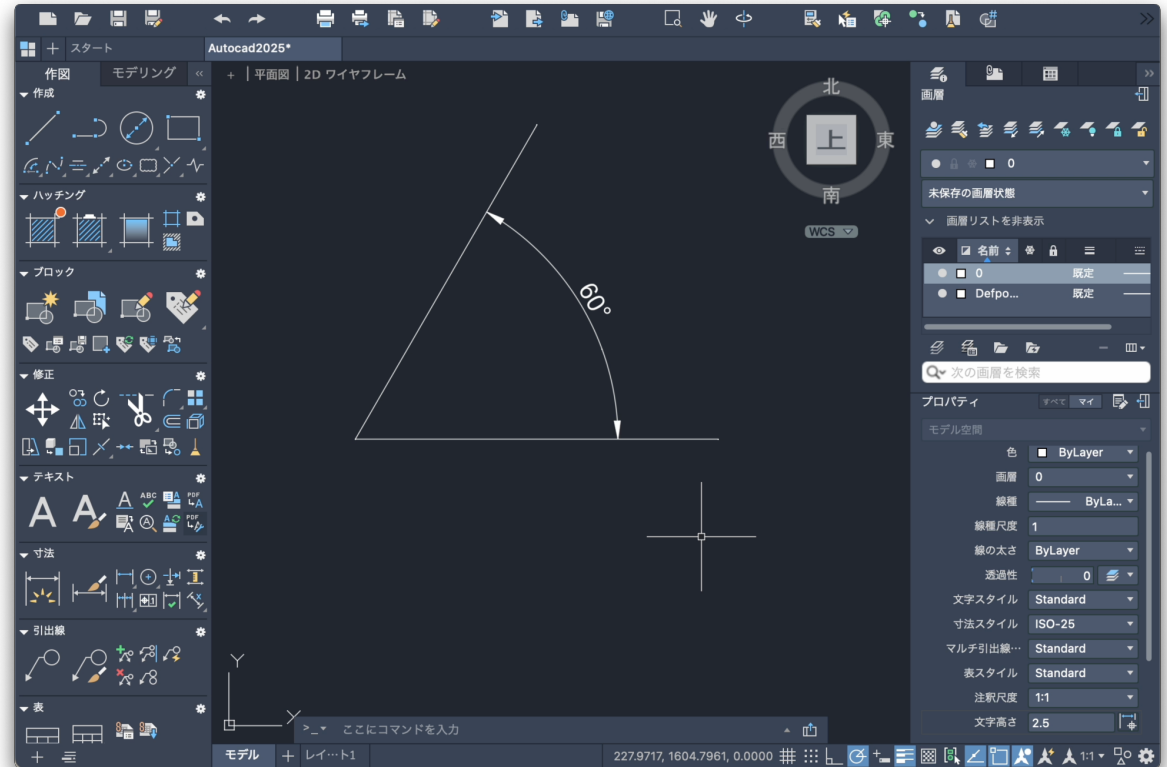
引用)AutoCAD 2025 V.58.M.214

6. 現在の角度の線の2点目を指定します。



引用)AutoCAD 2025 V.58.M.214

7. 0°を基準とした状態になったため、コマンドラインに最終的な角度を入力し、[Enter]キーを押すと操作完了です。ここでは、60°の角度の線にするため、[60]と入力しました。
8. 0°を基準に60°回転させたため、 $0^{\circ}+60^{\circ}=60^{\circ}$ の角度の線になりました。

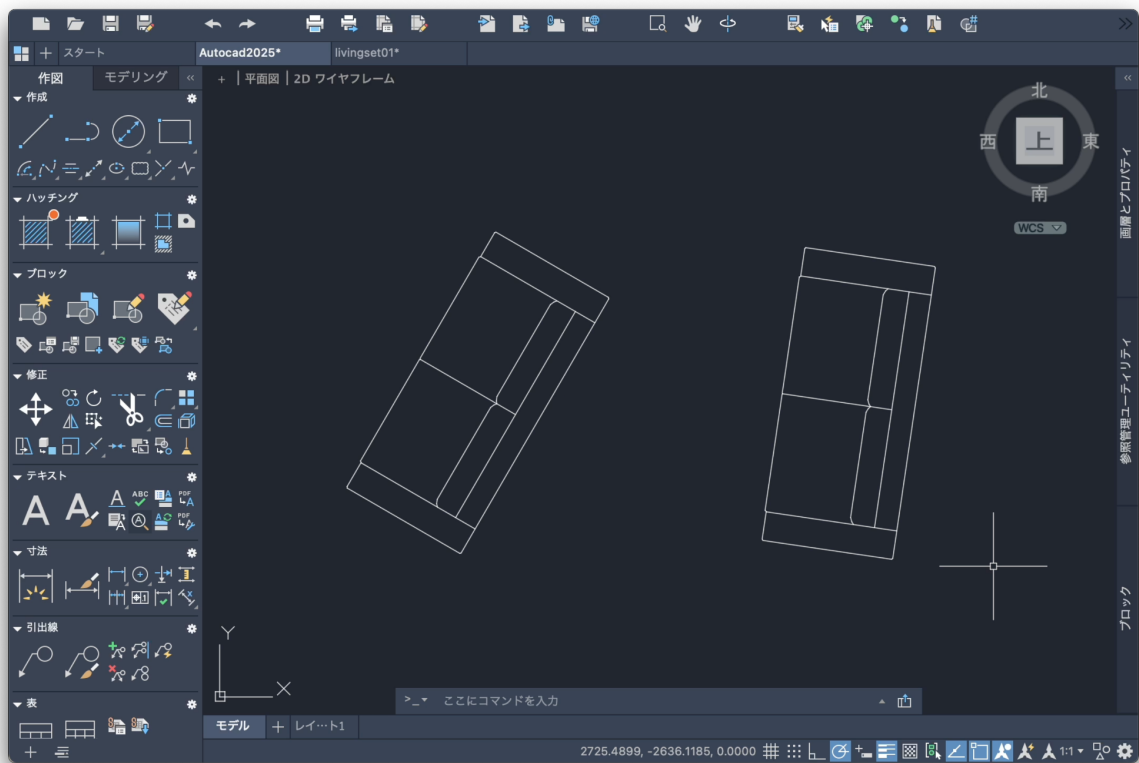


引用)AutoCAD 2025 V.58.M.214

### (3)他のオブジェクトに合わせて回転

特定のオブジェクトを、他のオブジェクトの角度に合わせて回転する方法です。手順6までは、(2-2)と同じです。

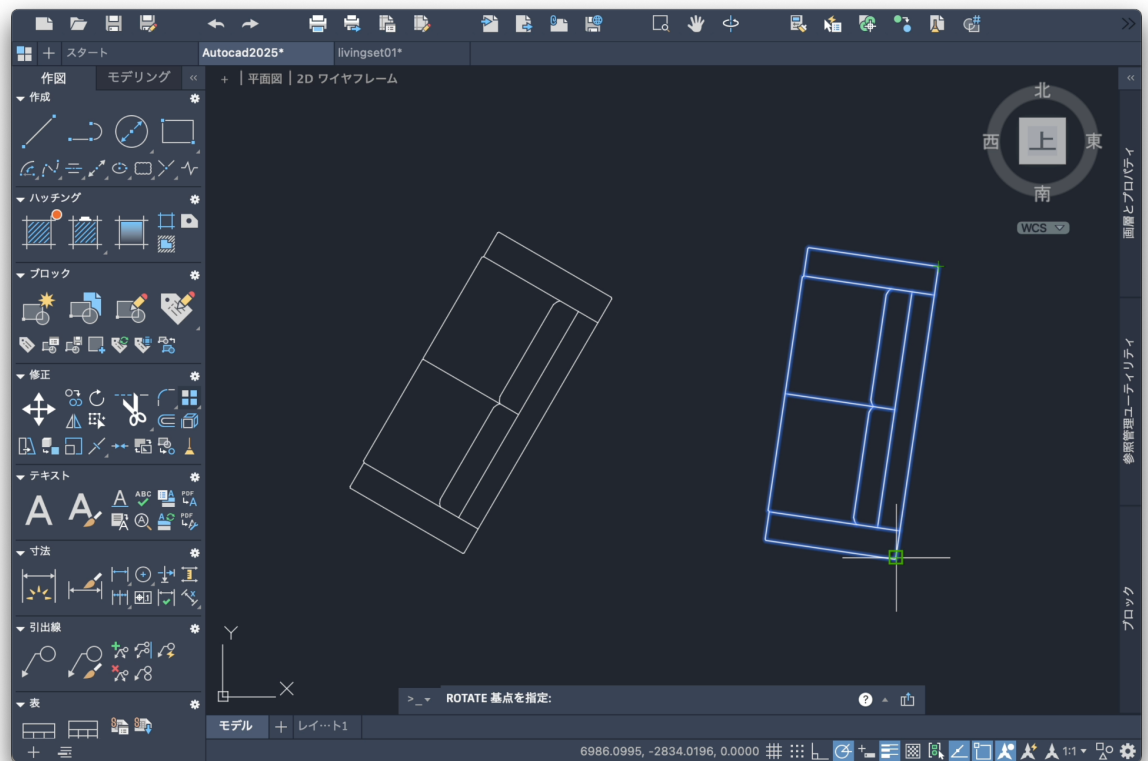
例として、下図の右側のソファを、左側のソファと同じ角度にしてみましょう。



引用)AutoCAD 2025 V.58.M.214

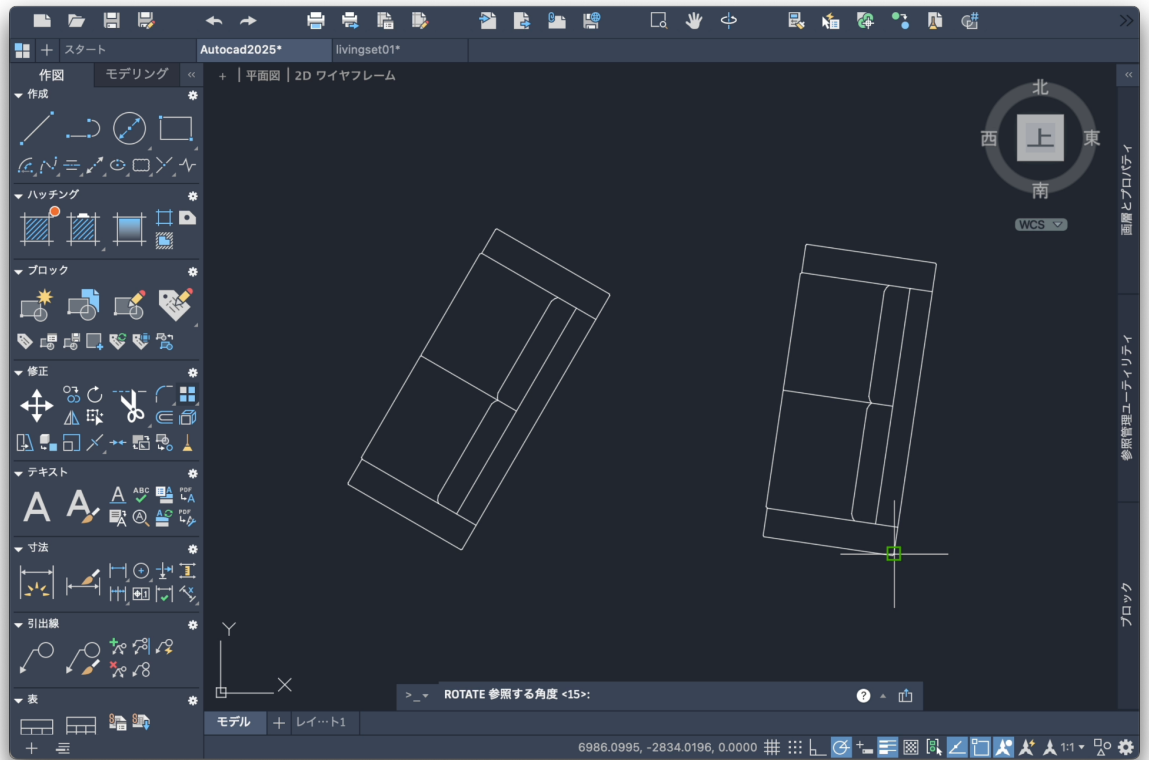
1. 回転コマンドを起動します。
2. 右側のソファを選択後、[Enter]キーを押します。

3. 右側のソファの基点を選択します。



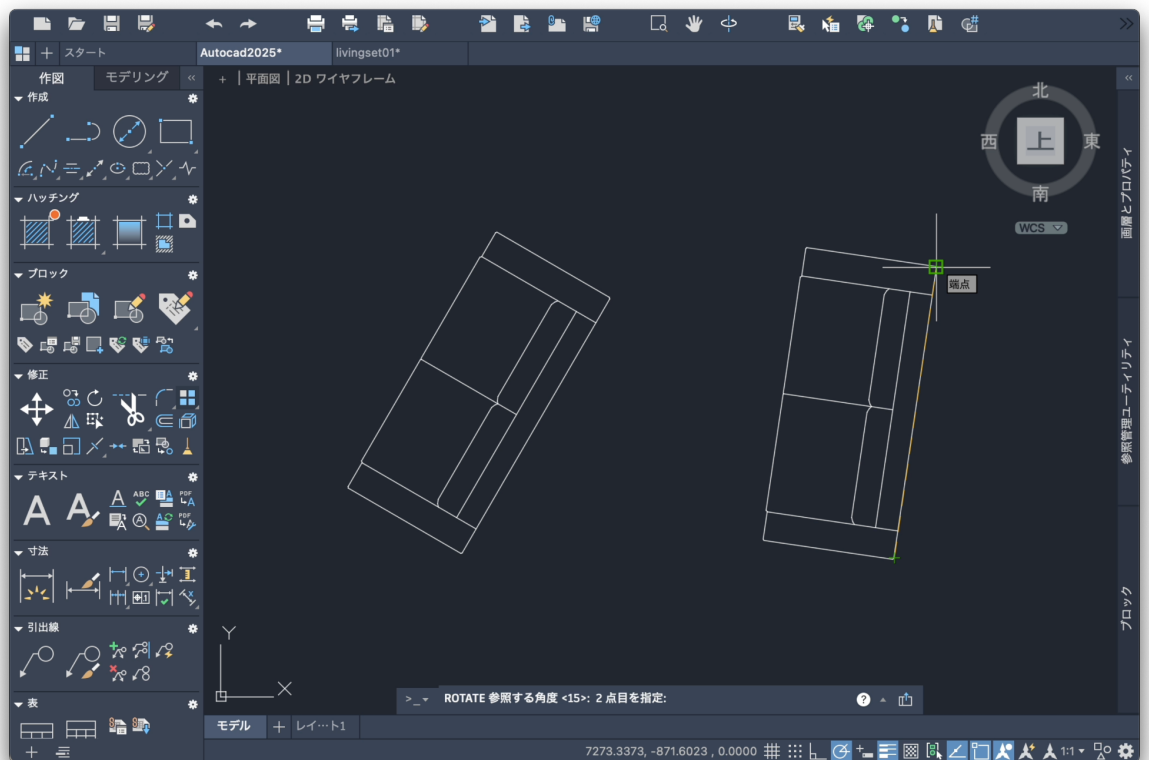
引用)AutoCAD 2025 V.58.M.214

4. [参照(R)]オプションを選択します。選択方法は次の2つです。  
<1>コマンドラインに[r]と入力し、[Enter]キーを押します。  
<2>[ダイナミック入力]が有効になっている場合、キーボードで[▼]キーを押すとメニューが表示されるため、[参照(R)]オプションを選択します。
5. 右側のソファの現在の角度を参照するため、1点目を選択します。ここでは、長手方向の角度を取得します。



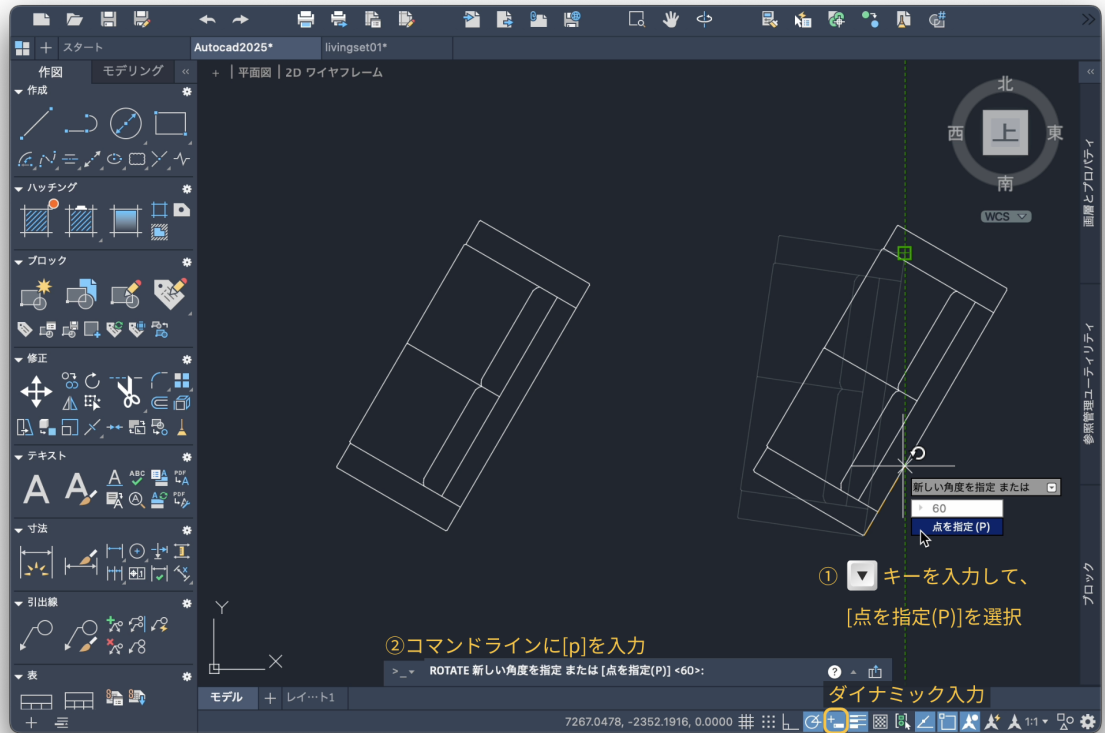
引用)AutoCAD 2025 V.58.M.214

6. 2点目を選択します。これで、右側のソファの角度を取得し、基準を0°にすることができました。



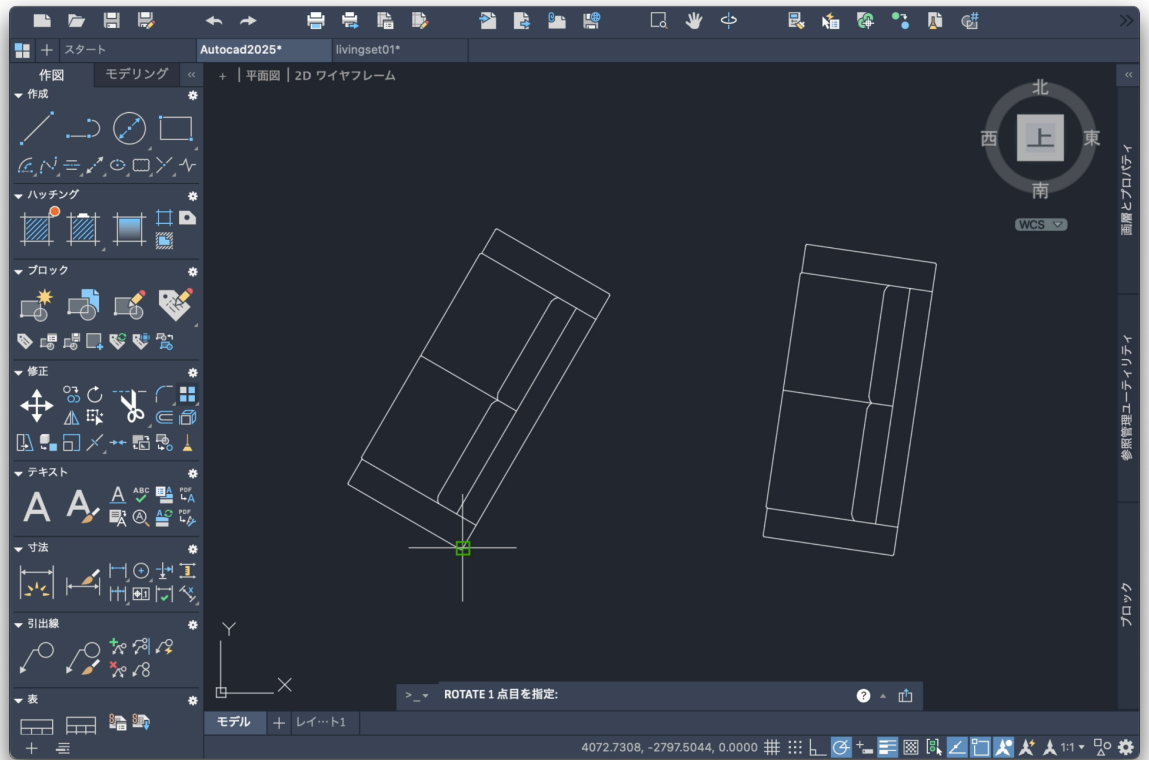
引用)AutoCAD 2025 V.58.M.214

7. 左側のソファの角度に合わせるために、左側のソファの角度を測定します。[点を指定(P)]オプションを選択します。選択方法は次の2つです。  
<1>コマンドラインに[p]と入力し、[Enter]キーを押します。  
<2>[ダイナミック入力]が有効になっている場合、キーボードで[▼]キーを押すとメニューが表示されるため、[点を指定(P)]オプションを選択します。



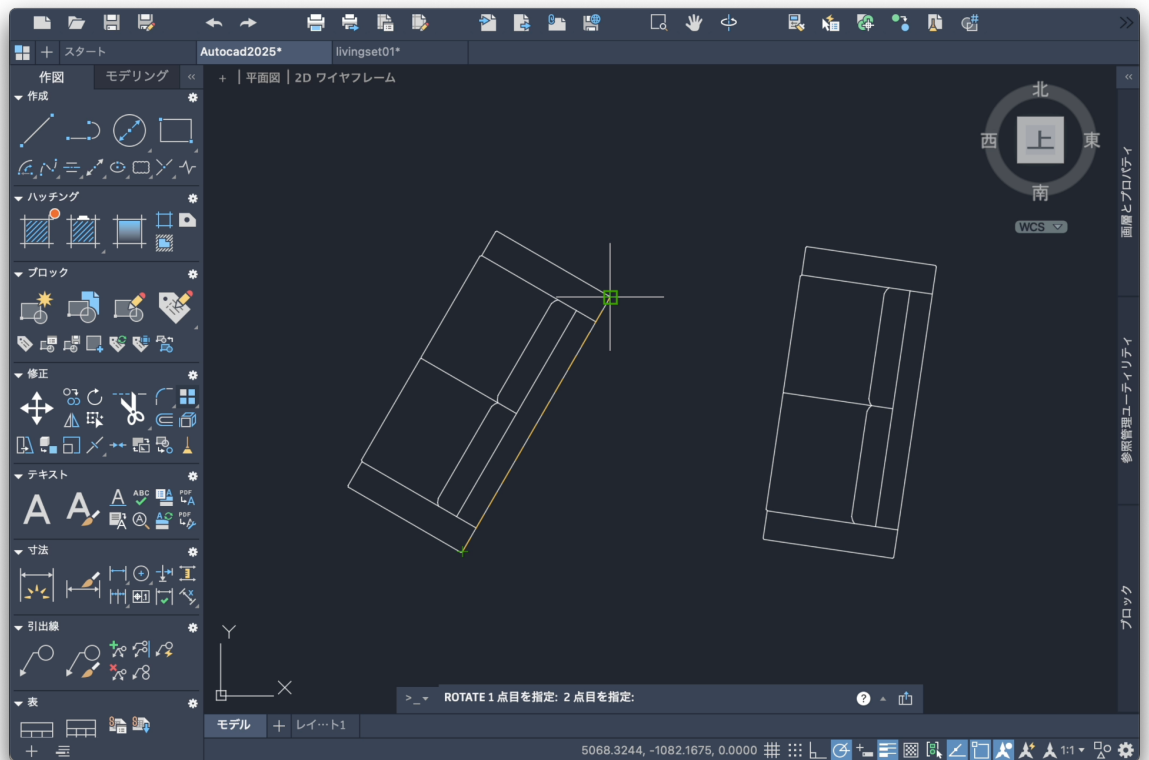
引用)AutoCAD 2025 V.58.M.214

8. 左側のソファの角度を参照するため、1点目を選択します。手順5・6で右側のソファの長手方向の角度を取得したため、同様に、左側のソファも長手方向の角度を取得します。



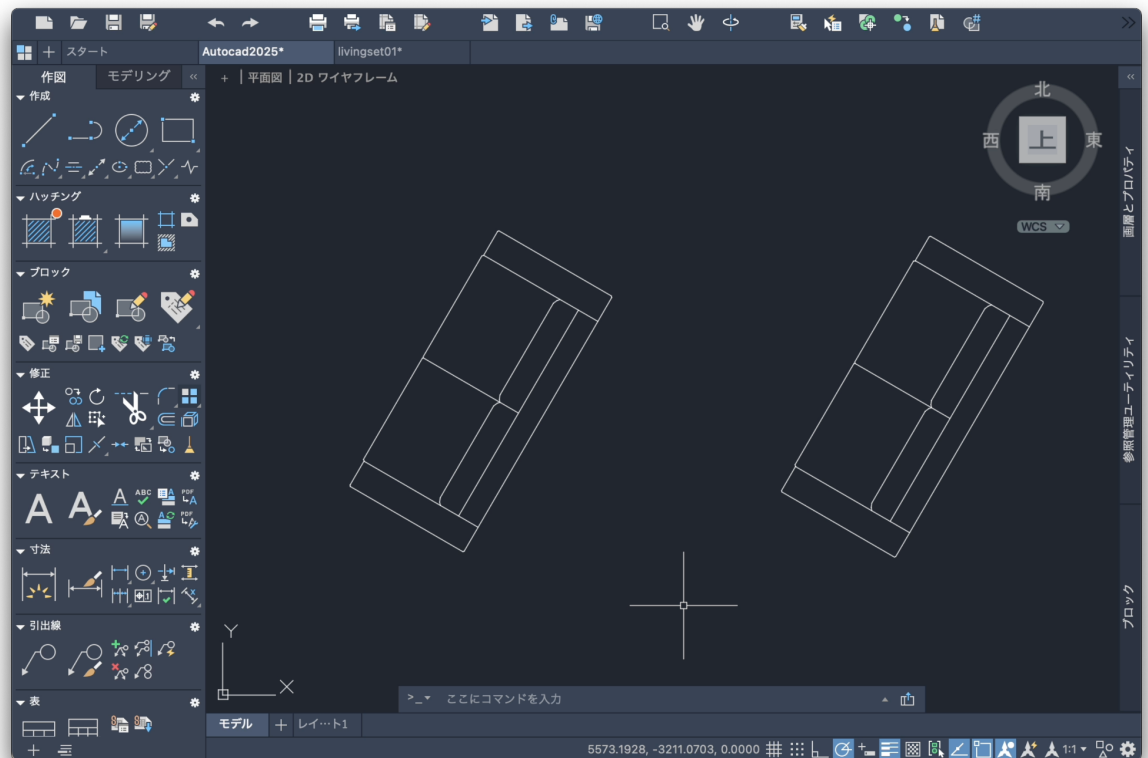
引用)AutoCAD 2025 V.58.M.214

9. 2点目を選択すると、操作完了です。



引用)AutoCAD 2025 V.58.M.214

10. 右側のソファが左側のソファと同じ角度になりました。



引用)AutoCAD 2025 V.58.M.214

## まとめ

3種類の回転方法を解説しました。

一度に理解することは難しいですが、繰り返しの作業で慣れていきましょう。

---

福岡在住ふみ

総合建設業で施工管理と設計の実務経験を積んだ後、フリーランスとして独立。建築×ITを強みとして活動している。